

令和8年度

予算編成及び政策決定等に関する

国への提案・要望

やまぐち未来維新プラン推進要望
(超重点)

令和7年11月

山口県



「錦帯橋」の世界文化遺産登録について

《文部科学省／文化庁》

提案要望

1 「錦帯橋」の世界遺産(文化遺産)暫定一覧表への追加記載

- 独特の構造と構造美を持つ木造橋「錦帯橋」を、人類共通の遺産として将来にわたり保存・継承するため、世界文化遺産候補として暫定一覧表への追加記載

2 「錦帯橋」の世界文化遺産登録に向けた取組の推進

- 「錦帯橋」の世界文化遺産登録に向けた取組に対する指導・助言等の支援

現状

【国の動向】

- 世界遺産登録決定により、暫定一覧表の記載資産は減少
- 文化審議会世界文化遺産部会の下にワーキンググループが設置（R6.4）され、暫定一覧表への追加記載に向けた具体的な検討が行われている状況（平成25年度以降の追加記載なし）

【我が国の世界遺産(文化遺産)暫定一覧表】（令和7年9月現在）

名 称	記載年
古都鎌倉の寺院・神社	平成4年
彦根城〔令和6年10月イコモスの事前評価済〕	平成4年
飛鳥・藤原の宮都〔令和7年1月ユネスコに推薦〕	平成19年
平泉-仏国土(浄土)を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群	平成24年

【山口県・岩国市の主な取組】

- 官民一体となった推進体制の構築
 - ・ 錦帯橋世界文化遺産登録推進協議会（県・市・関係団体で構成）設立（H28.11）
- 提案書を文部科学大臣へ提出（H30.12）
- 錦帯橋の価値についての理解増進
 - ・ 国内シンポジウムや国際意見交換会等の開催（H29～R7）
 - ・ オーストラリアで開催されたイコモス総会シンポジウム等での発表（R5）
 - ・ 海外専門家を招聘し、国際シンポジウム、意見交換会を開催（R5）

錦帯橋の顕著な普遍的価値や真実性についての世界的な合意形成に向け進展



- 地元における機運の高まり
 - ・ 「錦帯橋」創建350年（R5）の節目を迎えて一層の機運の高まり
- 県・岩国市の組織体制の強化
 - ・ 県と岩国市に新たな組織を設置し、連携して課題への対応を加速化（R7）

課題

- 暫定一覧表の記載資産が減少
- ⇒ 錦帯橋の調査・研究が進展し、地元の機運が高まる中、暫定一覧表追加記載の早期実現に向けた絶好の機会

- 近年、世界文化遺産の新規推薦案件に係るユネスコ世界遺産委員会の審査が厳格化
- ⇒ 豊富な知識を有する文化庁の指導・助言等を受けながら推薦書の作成や保存管理、理解増進・情報発信等に取り組むことが重要



錦帯橋の概要

〔名 称〕 錦帯橋（きんたいきょう）

〔所有者〕 岩国市

〔創建年〕 1673年（延宝元年）

〔創建者〕 岩国領主 吉川 広嘉（きっかわ ひろよし）

〔長さ等〕 全長193.3m、幅5m

〔指定等〕 ○名勝（大正11年3月8日指定、昭和18年8月24日追加指定）
○重要文化的景観（令和3年10月11日選定）の重要な構成要素

錦帯橋の魅力

- 錦帯橋は世界唯一
 - ・ 幅約200mの川を、独特な木造アーチ構造と橋脚で渡す木橋は錦帯橋が世界唯一。
- 時代を渡る橋
 - ・ 江戸時代の創建時より、同じ場所、同じ姿で今に伝わる。
 - ・ 江戸時代の図面や実物大の型板により、錦帯橋のデザインは350年以上の時を超えて継承。
 - ・ 架け替えを契機とした作図等による架橋技術の伝承。
- 無限の美しさ
 - ・ 江戸時代からの名勝地で、浮世絵にも取り上げられる美しさ。
 - ・ 橋板のシンプルさと橋桁の複雑さを有する「錦帯橋式アーチ構造」を下から見上げた時の美しさ。



歌川広重（岩国徴古館所蔵）



錦帯橋式アーチ構造

〔参考：世界遺産までの流れ〕

暫定一覧表
記載
(文化庁)

イコモスによる
事前評価

推薦決定
(政府)

イコモスの
審査

世界遺産委員会
による審議・決議

世界遺産
登録

